

Check

It

英文構造の理解と演習

Satoshi Okabe / Takemi Yokoyama /
Katsuaki Takahashi / Akihiko Haisa /
Mika Miyasone / John Eckard

Out!

は し が き

英文の意味内容を的確に理解するためには言語的な知識だけでは十分とは言えません。私たちが日頃蓄積している経験や知識に基づく社会的な常識(スキーマ)を活用して、書き手が意図する内容を、さらに自分のものとして追体験する必要があります。しかしながら、英文の字義的な内容把握という読解プロセスの初動段階で困難を感じ、スキーマを活性化して意味内容を推論、補完する次の段階へ進めないでいる学生が少なくありません。今日、大学入試の多様化に伴い、様々の英語学習歴を持つ学生が同一クラスで授業を受けるという教える側にとっても、教わる側にとっても、はなはだ効率の悪い、厄介な事態が生じていますが、こうした学生を支援し、早期に学習の順調な軌道に乗せてあげることが緊急な課題となっています。

本書の狙いは、従来型の文法事項の細目の学習ではなく、英文構造の実態に焦点を合わせた読解演習を通して、学生に英文の意味を直接把握する思考回路を短期、集中的に形成させることにあります。この目的のために、主部の構造についての一章を設けて、英文の意味の大枠を決める主語と述語動詞を的確に識別できるようにしました。同時に、必要最小限の柱として、1) 5文型を中心とする文の構造、2) 名詞句・節、3) 修飾語群 [形容詞句・節、副詞句・節]、4) 熟語・連語の4項目を中心にした演習により、まずセンテンスレベルの意味内容を把握させることを目指し、パラグラフの読解については後日に譲ることにしました。

学生が理解しやすいように、説明はなじみのある学校文法に準拠し、文法用語の使用は極力抑えるか補助的な使用にとどめ、やや詳しく、独習も可能なように配慮しました。本書はその目的の性格上、すべての文法項目を網羅するものではなく、その扱いの軽重も従来と異なるところがあることはあらかじめお断りしておかなければなりません。

外国語学習者の認知力は母国語に左右されるところが大きいだけに、センテンスレベルの基本的英文構造についての的確な理解がなければ、辞書記載の単語の字義に振り回されて支離滅裂な意味の迷路に迷い込むことになります。本書を利用して、英文読解への、いわば第一関門を一日も早く乗り越えて次なる段階へ進んでほしいと願っています。

おわりに、本書の編集に当たって数々の貴重な助言をいただいた三修社第二編集部の芦川正宏氏に感謝申し上げます。

平成13年 春

編著者

テキスト目次

はしがき

Unit 1	Introduction	6
---------------	---------------------------	---

Part 1 主部の構造

Unit 2	形容詞 (形容詞同等語) + 名詞	10
Unit 3	名詞 + 修飾語群 (形容詞句)	14
Unit 4	名詞 + 修飾語群 (形容詞節)	18
Unit 5	名詞同等語群 (不定詞、動名詞、名詞節)	22

Part 2 述部の構造

Unit 6	自動詞と他動詞	26
Unit 7	S+V 「あるタイプ」「するタイプ」	30
	主語 + 自動詞	
Unit 8	S+V+C 「であるタイプ」	34
	主語 + 自動詞 + (代)名詞 (名詞同等語群)	
	主語 + 自動詞 + 形容詞 (形容詞同等語群)	
Unit 9	S+V+O 「するタイプ」	38
	主語 + 他動詞 + (代)名詞 (名詞同等語群)	
Unit 10	S+V+O+O 「するタイプ」	42
	主語 + 他動詞 + (代)名詞 + 名詞 (名詞同等語群)	
Unit 11	S+V+O+C 「するタイプ」	46
	主語 + 他動詞 + (代)名詞 + 名詞 (形容詞)	
	主語 + 他動詞 + (代)名詞 + 動詞の原形 (分詞、不定詞)	

Part 3 副詞的な修飾語群

Unit 12	前置詞で始まる副詞的な修飾語群	50
Unit 13	不定詞を使う副詞的な修飾語群	54
Unit 14	接続詞で始まる副詞的な修飾語群	58
Unit 15	分詞を使う副詞的な修飾語群	62

Part 4 慣用的語群

Unit 16	動詞型	66
Unit 17	形容詞型	70
Unit 18	名詞型	74

Take the Challenge! - 1 (Unit 1)	79
Take the Challenge! - 2 (Unit 2 ~ Unit 5)	81
Take the Challenge! - 3 (Unit 6 ~ Unit 11)	83
Take the Challenge! - 4 (Unit 12 ~ Unit 15)	85
Take the Challenge! - 5 (Unit 16 ~ Unit 18)	87

Unit 1 Introduction

例文

① Since the first man was launched into space in 1962, there **has been** a **need** for space food. ② **John H. Glenn, Jr. ate** from a toothpaste-type tube filled with applesauce. ③ **It was easy** to eat but not very **tasty**. ④ In later flights, new food **types were sent** into space. ⑤ **Sandwiches crumbled**, and **nothing looked appealing** enough to eat.

(① 1962年、最初の人間が宇宙に打ち上げられてから、宇宙食が必要とされて来た。② ジョン・グレンはアップルソースがつまった歯磨きタイプのチューブから食をとった。③ それは食べやすかったが、あまりおいしくはなかった。④ 以後の宇宙飛行では新しいタイプの食べ物が宇宙に送られた。⑤ サンドイッチはぼろぼろにくずれ、何一つ食べられるほどにはおいしそうには見えなかった。)

解説

◎主語と動詞 上の①～⑤の英文で、太字で書かれた部分は、樹木に例えるならば、文の幹であり、それ以外の部分は文の枝葉とも言える修飾部分です。青い太字の語は主語であり、下線をつけた語句は動詞です。原則として、どの文にも主語と動詞があり、特殊な場合を除いては主語、動詞の順に出てくること(①は特殊)、また、主語になっている語は、(代)名詞であり[名詞同当語群であることもある(後述)]、通例、前置詞が付いた名詞や、形容詞などは主語にならないことを確認しましょう。**動詞**とは主語が行う動作、または主語についての状態を表す語で、活用[現在形、過去形、過去分詞形、-ing形など]を持つ語です。

◎文の意味上の3タイプ：「あるタイプ」、「であるタイプ」、「するタイプ」 英文の意味の大枠を決めるものは、主語と動詞で

す。主語と動詞によって表される意味の大枠は、時制を無視して考えると、あるもの(人)がある(いる, 存在する)ということを表す文 [①], あるもの(人)が~であるということを表す文 [③, ⑤の and 以下], あるもの(人)が~する(~される)ということを表す文 [②, ④, ⑤の and まで] の3タイプに分類できます。これを、便宜上、このテキストでは「あるタイプ」、「であるタイプ」、「するタイプ」として表すことにします。従って、どんなに複雑な長い文でも、その意味を捉えるにはまず、主語と動詞を見きわめ、文の3タイプのどれにあたるのか見当をつけ、それから文の幹と枝葉を見分けられるようにすることが大事になります。このテキストの目的はそのために必要な演習をすることです。

◎**主部と述部** 主語と動詞は文を成立させる基本要素ですが、現実には生起する文では、主語は冠詞を始め、形容詞または形容詞同等語群に修飾されて出て来ますし、動詞は、「いつ」、「どこで」、「どのように」、「なぜ」などの意味を表す副詞または副詞同等語群に修飾されて、長い文になります。文の中で、主語と、それを修飾する語群をひとまとめにして**主部**と言い、それ以外の部分を**述部**と言います。従って、主語は主部の中心語、動詞は述部の中心語と言えます。



述部の構造でも触れますが、意味の3タイプの判別がむずかしい動詞に次のような場合があるので注意しましょう。

1. 判別しにくい「あるタイプ」

例： **a. There is a taxi waiting outside.** (外でタクシーが待っています)

b. There stands a church on the hill.

2. 判別しにくい「であるタイプ」 動詞の部分をbe動詞で置き換えても意味の通る英文になるかどうか判別の目安になります。

例： **a. You are looking very well today.**

b. The flowers in the garden smell sweet.

c. When I grow up, I will become a teacher.

d. The dog lay quiet at his master's feet.

EXERCISES

- I. 次の文の主語と動詞を指摘し、意味の3タイプのどれに当たるかを言いなさい。
1. Many plants bloom in the spring.
 2. At the beginning of a book there is often a table of contents.
 3. Seawater tastes salty.
 4. Every morning my father runs in the park for half an hour.
 5. A cool breeze feels good on a hot day.
 6. Frozen food is often easier to cook than fresh food.
 7. The journey from Mexico to San Francisco takes about 13 hours.
 8. Like any other country, Japan has both good and bad sides.
 9. If you don't know the meaning of a word, look it up in the dictionary.
 10. When I found out that he was from my hometown, I suddenly began to feel close to him.
- II. 次の文の主部を()で線り、主語を指摘しなさい。
1. The most notorious spy of World War I was the Dutch dancer Mata Hari.
 2. The traffic on the streets in large cities is getting denser and denser.
 3. There was no trace of poison in the tea.
 4. In proportion to increases in the volume of information, larger and larger amounts of computer memory become necessary.
 5. Because they admired that professor deeply, many students took his classes.
 6. On my first day off in a long time, my whole family went to the beach.
 7. At the end of the driveway stood a tall stone gate.
 8. Of all American historical figures, Abraham Lincoln is dearest to the hearts of the American people.

III. ()内の語句を英文の最も適当な箇所に入れなさい。

1. this tastes bitter. (medicine)
2. of his adventures is very interesting. (the story)
3. there is often after it rains. (a rainbow)
4. in the fall turn red and gold. (the leaves)
5. when my father was ill, advised a long holiday. (the doctor)
6. when would be convenient for you to come? (it)
7. my hair too long. I must get it cut. (has grown)
8. for the first time our opinions. (agreed)
9. the room on the second floor vacant. (is)
10. please this book up on the shelf. (put)

IV. 次の語句を並べかえて日本文の意味を表す英文を作りなさい。

1. 駐車場には空いてるところがない。
in / are / no / there / the parking lot / empty spaces
2. 富士山の麓の静岡県はいろいろと観光資源に富んでいます。
at / full / tourist attractions / the foot of Mt. Fuji / of / is /
Shizuoka Prefecture
3. 私たちはなんと情けない世界に住んでいるのでしょうか!
a / in / live / miserable / we / world / what
4. 気仙沼へはどこの駅で乗り換えたらいいのでしょうか?
I / change / for Kesenuma / should / at what station
5. 父は、今度、会社での身分が変わった。
has / the company / position / changed / my father's / at

Part 1

主部の構造

Unit 2 形容詞 (形容詞同等語) + 名詞

例文

1. **The big game** between the Giants and the Tigers will begin at 2:30 this afternoon.
(ジャイアンツとタイガースとの大試合が今日の午後2時半から始まります)
2. There were **a few large, old, wooden houses** in the town.
(町には二、三の古い大きな木造家屋があります)
3. **The school bus** was ten minutes late.
(スクールバスが10分遅れた)
4. **Barking dogs** don't always bite.
(吠える犬がいつでも噛み付くとはかぎらない)
5. **The broken dish** lay on the floor.
(割れた皿が床にころがっていた)

解説

◎名詞または代名詞は単独で文の主語としてしばしば使われますが、このUnitでは、日本語の語順と同様に修飾語が主語である名詞の前について主部を構成している場合(前置修飾)を扱います。例文中の黒い太字の語が主語であり、青い太字の語は、主語である名詞の前に置かれて、後続の名詞を修飾していることを文の意味から確認しましょう。

◎名詞の修飾語となるものは形容詞(例文1, 2)、分詞(例文4, 5)です。冠詞(a, an, the)も形容詞の一種と言えますが、ここで

は除いて考えます。例文2のように、主語が二つ以上の形容詞によって修飾される場合もあります。例文3のように名詞が形容詞的に使われる場合もあります。例文4, 5のように分詞が形容詞的に使われる場合、現在分詞は能動的な動作を、過去分詞は受動的な動作または、ある動作の結果としての状態を表す時に使われます。前置修飾では、いずれの場合も、修飾語は単独で使われ、補足的な語句を伴っていないことにも注意しましょう。



1. 形容詞の中には単独でも修飾する名詞の後につけられるものがいくつかあります。
例：a. The people **present** were all surprised at his bad manners.
b. Who **else** will come to the party?
2. 例文2のように、主語が二つ以上の形容詞によって修飾される場合、一般的には次のような語順になります。
「価値・判断」+「大小」+「形状」+「年令・新旧」+「色彩」
例：an expensive, large, round, new white table
3. something, anything, nothing, everything など、-thing という形の語には形容詞が後につきます。
例：Is there anything **good** to eat?
4. 代名詞には原則として形容詞はつきませんが、形容詞を伴うことができる代名詞があります。
例：This blue **one** looks nice.
5. afraid, alive, asleep のような形容詞は修飾する名詞の前に置かれません。
6. smoking room (喫煙室), fishing boat (漁船), walking stick ([散歩用の] ステッキ) などのように、名詞とその前の-ing 形の修飾語との間に意味の上で主語と動詞の関係が認められない時には、意味が違ったものになりますから注意しましょう。

EXERCISES

- I. 次の文の主部を指摘し、意味の3タイプのどれに当たるかを言いなさい。
1. A safe, low-cost way to produce energy must be found.
 2. Energy experts say nuclear power is safe.
 3. There used to be a famous, long, red bridge between those islands.
 4. The assigned task was difficult to finish in a few days.
 5. Developing countries have to be helped by advanced ones.
- II. ()内のa～cから最も適当なものを選びなさい。
1. Many (a. wounded b. wounding c. wound) soldiers were left dying.
 2. That (a. sparkled b. sparkle c. sparkling) diamond necklace in the showcase would look great on you.
 3. The (a. washed b. washing c. wash) machine has so remarkably improved recently.
 4. The (a. retired b. retiring c. retire) civil servant lives on a pension.
 5. The (a. frightened b. frightening c. frighten) animals fled from the forest fire.

III. 次の語句を並べかえて日本文の意味を表す英文を作りなさい。

1. 彼の突然の死は私たちにとってたいへんショックだった。

to / sudden / was / his / shock / death / great / a / us

2. 彼女は日本の風物を研究してきた。

studying / been / things / she / Japanese / has

3. この車には快適に6人は乗れるだろう。

(will / six people / car / this / hold) comfortably.

4. 書きことばは話しことばとは異なる。

language / language / different / spoken / is / from / written

5. 疾走するトラックが子供をはねた。

(truck / down / speeding / the / ran) the child.

IV. 下線部に注意して、日本語に直しなさい。

1. The coming presidential election will be a close one.

2. Many new ideas have been running through my mind lately.

3. The frightened passengers jumped into the lifeboats.

4. Those polished shoes look almost new.

5. A rolling stone gathers no moss.